

こちり編集室

From EDITOR

コメ騒動を乗り越えて

5月11日にたまの誕生日を祝うイベントが、盛大に行われました。コロナ感染症も収まり、やっと以前のような日常を取り戻すことができたと思ったのもつかの間、私たちの生活は令和のコメ騒動に翻弄されています。私たちの日常は次から次へと押し寄せる社会の変化と無縁ではないようです。「以前のように…」と考えがちですが、今後の変化を見据えた、新たな町づくりが求められています。

さて、6月議会も全議員が議場に立ち、それぞれの視点から一般質問を行いました。玉村町の「いま」を伝えるこの冊子を、より多くの町民の皆様にご覧いただき、この町の行く末を共に考えていただければ幸いです。(松本幸喜)

議会広報特別委員会

委員長 松本幸喜

副委員長 小林一幸

委員 羽鳥光博・堀越真由子

月田 均・新井賢次

発行責任者(議長) 石内國雄



ラヂオななみ 玉村町議会



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています

ダレデモ傍聴

次の9月定例会は

2025

9.1^月 → 16^火

本会議・委員会はだれでも傍聴できます。詳しい日程は8月末に議会ホームページでお知らせします。

たまむら議会川柳

(詠み人 みつちゃん)

夏空に
願いを込めた
月明かり



voice 67

議員記者がゆく!

「聴こう・語ろう」

みんなの
広場

点字ボランティア
「ひまわり」

【取材：小林一幸委員】

点字ボランティア ひまわり

設立年月日：平成9年1月

活動時間：毎月第2・第4水曜日
13:30~16:00

活動場所：まちなか交流館1階
玉村町社会福祉協議会
(相談室)

会 員 数：12名

活動内容：各種点訳
・カレンダー作り
・広報たまむら
・新聞記事
点訳指導

活動を続けてよかったこと

- ほとんどの会員が20年以上継続して活動しています。
- 現在、施設に入所している人も毎月施設で点訳作業をしてくれています。
- 正しく点訳するために言葉に対して敏感になり、こだわりが生まれたことです。
- 視覚障害者だけでなくほかの障害者のことも考えるようになりました。
- 最近では県立女子大学生3名が継続して参加してくれています。
- 小学校へ行って点字ボランティアをできたことです。
- 自宅で点訳もできます。

活動を続ける上で大変なこと

- やりがいはありますが、仕事をしながら活動していたときは大変でした。今は退職して皆さんと楽しく活動しています。
- 高齢化による会員数の減少です。

これからの活動への思い

- 長年継続して活動しているので多くの人に点訳を知ってもらい、参加してほしいです。
- 特に子供たちに点訳を含めてボランティア活動に関心を持ってもらいたいです。「障害に対して、人にやさしい人になってほしい」という思いで活動しています。



点訳は視覚に障害のある人々に「文字の世界」を届ける架け橋になっています



読むことの自由を多くの人に届けています

静かで力強いボランティア活動です



初心者大歓迎。
誰でもできます!
道具は全て用意して
ありますので
手ぶらでOKです!
気軽に見学に
来てください♪

会員募集

連絡先:

玉村町社会福祉協議会
玉村町ボランティアセンター
TEL: 0270-65-8864